

2018年1月 環境活動報告

将来を考えて地球にやさしいエコカー

私たちの暮らしに欠かせない自動車。自動車から排出される排気ガスは大気汚染問題の1つで、排気ガスに含まれる二酸化炭素(CO2)は、世界的な問題である地球温暖化の1つの原因にもなっています。国からの補助や税金の優遇によって普及が進むエコカー、従来の自動車と比べて排出される大気汚染物質が少なく、または全く排出されないだけでなく、ガソリンや軽油などの石油に代わるエネルギーで走行する自動車もある。石油等の資源問題にも有効と考えられ人と環境の共生を実現させるエコカーで、新しい未来へと具体的に行動しましょう。

天然ガス自動車

都市ガスの原料となる天然ガスを燃料として走る自動車。従来のガソリン車と比べて二酸化炭素(CO2)の排出量が約30%少なく、窒素酸化物(Nox)や粒子状物質(PM)の排出も低く抑え、排気ガスがクリーンであることが特長。



電気自動車

バッテリー(蓄電池)に蓄えられた電気を使って走る自動車。燃料を燃焼・爆発させて動力にする必要がないため、走行中の排気ガスは一切ない。太陽光発電などを利用した充電が可能になれば、環境保全に大きく貢献できる。



ハイブリッド自動車

エンジン(ガソリンやディーゼル)とモーターなど、複数の動力源を組み合わせた自動車。従来のガソリン車と比べて燃費がよく、二酸化炭素(CO2)の排出量が大幅に削減される。



燃料電池自動車

水素と酸素の化学反応で電気を発生させ、モーターを駆動させる自動車。燃料に水素を使えば、排出は水のみ。
※普及に向けて水素ステーション整備やコスト削減などの課題も存在する。



プラグインハイブリッド車

家庭用電源などからバッテリーに充電でき、走行距離の長さが特長のハイブリッド自動車。

水素自動車

ガソリンの代わりに水素で駆動し、二酸化炭素(CO2)の排出をしない自動車。

低燃費かつ低排出ガス認定車

一定の燃費基準、排出ガス基準を満たしていると認定された自動車。

※一部の車両は購入時に税制面での優遇を受けれる。

1月エコアクション活動実績

	内容	目標	1月実績	達成度合	判定
節水大臣	使用量前年比10%削減	7.517 m ³ /月	7.131 m ³	105.4%	達成
節電大臣	使用量前年同月比10%削減	2,148 kWh/月	2,160 kWh	99.4%	未達成
グリーン購入大臣	グリーン購入品推進50%以上	50 %/月	45.7 %	91.4%	未達成
ごみ処理大臣	ゴミ総排出量削減 目標49.28kg以下	49.28 Kg/月	40.00 Kg	123.2%	達成
製品サービス大臣	省エネ省資源化の提案	10 件/月	1 件	10.0%	未達成